

家電メーカー等の有害物質の使用量の自主的取組（出所：各社の2002年（年度）環境報告書）

	家電	パソコン	複写機	その他製品（（ ）内は品目名）
鉛	< A社 > ・ [目]2002 年未までに鉛フリーはんだをグローバルに全製品へ導入する ・ [実]2001 年未までに鉛フリーはんだを国内 130 品目に、海外では 32 社、21 品目に導入を完了 ・ [実]鉛フリーメッキを実用化、半導体では新製品のうち約 86％、1433 品種を実用化、電子部品では 2001 年度未までに全製品について鉛フリーメッキ対応を完了 < B社 > ・ [実]家電製品を中心に鉛フリーはんだの採用を開始 < C社 > ・ [実]2004 年の鉛全廃を目指して鉛フリーめっき、鉛フリーボールを開発、量産を開始 < D社 > ・ [実]「2002 年 3 月、国内生産の新製品に無鉛はんだを全面導入」を目標に活動、達成 < E社 > ・ [目]2003 年未までに鉛はんだを全廃 ・ [目]2003 年に鉛フリーはんだの全面採用 ・ [目]鉛の使用を 2003 年未までに半減（2000 年比） 2005 年未までに鉛を全廃 < F社 > ・ 1998 年から鉛フリー化に取り組む（回路基盤に実装するスイッチ、可変抵抗器などの電極端子や端子のはんだめっきとチューナーなどのユニット、モジュール製品の内部接合はんだ	< B社 > ・ [実]「Dynabook SS2000」のプリント基板に鉛フリーはんだを採用 < G社 > ・ [実]1999 年度にマザーボードの全部品実装に鉛フリーはんだを使用 ・ [実]2001 年度にはレーザープリンタにも鉛フリーはんだを使用 < H社 > ・ [実]鉛はんだ全廃方針に従い、新規開発製品を対象に無鉛はんだの適用を拡大	< I社 > ・ [目]2002 年に鉛はんだを全廃予定（一部購入品を除く） ・ [実]鉛フリー電線、鉛フリーレンズを導入済み < J社 > ・ [実]環境行動計画で全廃を目標にしている ・ [実]はんだの無鉛化に取り組む。GPN に登録されている複写機で、はんだの無鉛化ランク A（50％以上を無鉛化）14 製品のうち、リコー製品が 13 製品を占めている（2002 年 3 月 29 日現在） < K社 > ・ [実]鉛フリーレンズ、鉛フリーはんだ、鉛フリー電線の採用を開始 ・ [目]2004 年末には製品から廃絶 < L社 > ・ [実]2001 年 10 月より鉛フリー基盤の量産をスタートし、カラー複写機「CF9001」への搭載を開始 < M社 > ・ [実]複写機に鉛フリーはんだを導入 < N社 > ・ [目]インフォメーション・アンド・ドキュメントカンパニーにおいて、2004 年 3 月までに、基盤組み立てに使用するはんだの鉛を全廃できるよう活動中	< O社（自動二輪） > ・ [実]二輪車用ホイールバルンサーに鉛の代替材料として軟鉄やスズ製のバルンサーを開発し、2001 年度末実績では、国内生産分購入の 80％以上が鉛フリー品に < M社（レンズつきフィルム） > ・ [実]フラッシュ基盤に鉛フリーはんだを導入 < L社（プリンタ、カメラ、計測器） > ・ [目]2002 年度より、プリンタ、カメラ、計測器に鉛フリー基盤の採用を順次開始する予定 < P社（電卓等） > ・ [実]1999 年度よりエコ電卓に鉛フリーはんだの採用を開始、2002 年には、時計に採用 ・ [目]2004 年度までに鉛入りはんだ全廃を目標に掲げている < Q社（ガラス） > ・ [実]自動車ガラス用塗料（黒色セラミック塗料）の無鉛化の開発にいち早く取り組み、顧客の要請に対応し、無鉛化への切り替えを行っている < R社（ガラス） > ・ [実]2001 年 4 月より鉛を含んだ光学ガラスの発売を中止
六価クロム	< E社 > ・ [目]六価クロムの使用を 2003 年未までに半減（2000 年比） 2005 年未までに全廃	< H社 > ・ [実]デスクトップパソコンの筐体・小物部品に六価クロムを使用しないクロムフリー鋼板を採用	< I社 > ・ [実]クロムフリー鋼板を導入済み < J社 > ・ [目]環境行動計画で全廃を目標にしている ・ [実]「Aficio 1013/RICOH FAX3310L」で、クロムフリー鋼板を 100％使用 < K社 > ・ [実]2001 年からクロムフリー鋼板を採用 ・ [目]2004 年末には製品から廃絶 < L社 > ・ [目]2002 年度より、クロムフリー鋼板を順次製品に搭載予定 < M社 > ・ [実]クロムレス鋼板を導入している	
カドミウム	< E社 > ・ [目]2003 年未までに半減（2000 年比） 2005 年未までに全廃		< J社 > ・ [目]環境行動計画で全廃を目標にしている < K社 > ・ [目]2004 年末には製品から廃絶	
その他 （水銀、 アスベスト、 ヒ素）	< E社 > ・ [目]2003 年未までに水銀を半減（2000 年比） 2005 年未までに全廃 ・ [目]2003 年未までにアスベストを使用中止		< K社 > ・ [目]2004 年末には製品から水銀を廃絶	< Q社（ガラス） > ・ [実]ヒ素フリーTFT 液晶基盤用ガラスを商品化 < R社（ガラス） > ・ [実]2001 年 4 月よりヒ素を含んだ光学ガラスの発売を中止

注）目[目]とあるものは各社の目標、[実]とあるものは各社が実際に取り組みを行った事例